



倒産寸前のローカル線の存続をかけて、

銚子電鉄が製作した話題の鉄道映画！

絶対にあきらめない

中国エリア初上映

日時■

3月13日(土)・14日(日)

【第1部】 13日:14時30分開演

【第2部】 13日:18時30分開演

【第3部】 14日:10時30分開演

(上映時間 84分、開場は30分前)

会場■あわくら会館 百森ひろば

定員■各回20名

料金■一般:1,100円 中学生:700円

小学生:600円 ※

★秘密の豪華お土産付き(ネタバレ禁止)

上映後、地域おこし協力隊の猪田有弥さんと
ゲストによるアフタートークを開催予定です。

※あわくら会館開催の特別料金となっております。

電車を止めるな!

事前予約■あわくら会館
(0868-79-2116)に連絡
又は右のQRコードから



~のろいの6.4km~

ネット申込可

あわくら会館 住所■岡山県英田郡西粟倉村影石 33-1
主催■あわくら会館・にしあわくらモビリティプロジェクト



廃線寸前の鉄道会社が企画した、
起死回生の「心霊電車」企画
カメラを前に社員全員で必死に心霊現象を演出するが
視聴者からの厳しい書き込みで炎上していた。
しかし、丑三つ時に本物の霊現象が起こり始める。
電車は止まることなく走り続け、終着駅まであとわずか...
参加者、そして銚子電鉄の運命は

倒産寸前の貧乏鉄道会社が社運をかけて制作した 渾身の「超C級ホラーコメディ！」



銚子電気鉄道株式会社は今年 7 月に創業 97 年を迎えます。関東最東端の街で、通勤・通学、そして観光のお客様を乗せて走り続けてきました。しかし近年はモータリゼーションの発展、沿線人口の減少による業績悪化に悩まされ、鉄道事業は年々厳しさを増しています。こうした状況を改善すべく『ぬれ煎餅』の製造販売、そして「経営状況がまずい」ので『まずい棒』、「経営がサバイバル」なので『鯖威張るカレー』を販売するなど食品会社顔負けの、なんでもありの生存戦略で鉄路を守ってまいりました。

しかしながら昨秋の台風襲来、追い打ちをかけるようにコロナ禍に見舞われ、運転資金に事欠くほどの事態に陥りました。老朽化した変電所の大規模修繕も控えており、その資金を用意できなければ、いずれ電車は止まってしまいます。

銚電を必要とする人たちのためにこれからも電車を走らせ続けたい...。そんな想いから本作の製作に取り組み、おかげ様でクラウドファンディングでは 500 万円の製作費を集めることができました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

地方鉄道の灯が消えぬよう、一人でも多くの方にご覧いただきたいと願っております。皆様の温かいお力添えを心よりお願い申し上げます。

2020 年 6 月 30 日
銚子電気鉄道株式会社 代表取締役社長 竹本勝紀

INTRODUCTION



映画という名のクラウドファンディング
詳細は公式サイトをご覧ください。

電車を止めるな

検索

<https://www.dentome.net>

